

神経変性疾患 と 幹細胞治療



神経変性疾患

神経変性疾患は、中枢神経系または末梢神経系に深刻な影響を与え、神経細胞が徐々に失われ、最終的には死に至る疾患群です。アルツハイマー病とパーキンソン病は最も一般的な神経変性疾患であり、2022年のデータによると、アメリカでは最大620万人がアルツハイマー病に、約100万人がパーキンソン病に影響を受けているとされています。これらの疾患のリスクは加齢とともに大幅に増加します。現在のところ根治療法はありませんが、早期発見と診断によって、薬物療法、リハビリ、介護を通じて患者の生活の質を維持することが可能です。

神経変性疾患の病理学的特徴には、異常タンパク質の蓄積、シナプスおよび神経ネットワークの機能不全、細胞骨格の異常、エネルギー代謝の変化、DNAおよびRNAの欠陥、炎症、そして神経細胞死が含まれます。特に炎症は、神経変性疾患の進行を悪化させる要因となり、神経細胞の死亡はこれらの疾患の核心的な特徴です。

アルツハイマー病の危険因子



高齢



糖尿病



喫煙



肥満または過体重



アルツハイマー病の家族歴



高血圧



睡眠不足



ストレス



身体活動の不足
または運動不足

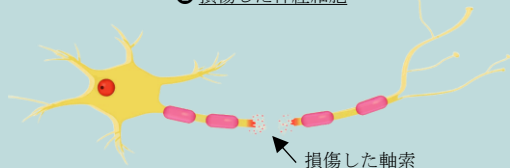
HELENE 幹細胞治療の力

● 静脈内投与

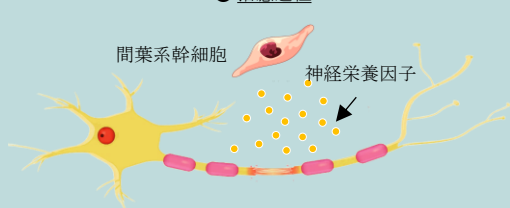
● 炎症の緩和

● 神経再生の促進

① 損傷した神経細胞



② 治療過程



③ 回復した神経細胞



幹細胞は、アルツハイマー病やパーキンソン病などの神経変性疾患の治療において、炎症と神経再生という病気の進行の重要な側面に焦点を当てた画期的なアプローチを提供します。幹細胞は、抗炎症性サイトカインを分泌することで神経炎症を大幅に軽減し、神経細胞の損傷を加速させる炎症を抑え、治療に適した環境を整えます。これにより、神経再生が促進され、病気の進行を遅らせることが期待されます。

幹細胞は炎症を軽減するだけでなく、神経栄養因子を分泌することで神経再生を促進し、軸索の延長をサポートし、ニューロン間のシナプス接続を回復させます。さらに、幹細胞は血管新生を促進し、脳組織の健康を改善するとともに、フリーラジカルを減少させ、損傷した細胞の局所的なアポトーシスを抑制することで、脳の健康を保ちます。

HELENEクリニックは、この革新的な治療の最前線に立ち、炎症の軽減と神経組織の再生を目指した高品質な幹細胞療法を提供しています。神経変性疾患に苦しむ患者に、新たな希望をもたらす治療法を提供しています。

